

7月のピックアップコーナー

「オリンピック」

栄 咲子

今月の27日よりイギリスのロンドンにて夏季オリンピック競技大会がいよいよ開幕します。17日間で26競技(302種目)が行われます。世界の約200あまりの国と地域から厳しい予選を通過したトップアスリート達が日々凌ぎを削ることになります。今回のオリンピックの開幕を心待ちにしている人も多いことでしょう。そこで、オリンピックに関して書かれた本を集めてみました。

オリンピックは、フランス人クーベルタンの提唱により、アテネで第1回大会が催され、以後4年ごとに開かれてきました。今回で夏季に開かれるオリンピックとしては、30回目の大会になります。第1回アテネ大会以後、今日に至るまで世界では、戦争など様々な出来事がありましたが、オリンピックが世界の平和と友好の証しであることには、変わりはありません。

またオリンピックは、アスリートだけでなく、そのアスリートを送り出す国や地域、オリンピック開催地、IOCなどオリンピックと関わったあらゆる人々の壮絶なドラマであるといっても過言ではありません。なぜならオリンピックの開催が、スポーツのみならず、経済、文化などあらゆる分野にも多大な影響をあたえるからです。オリンピックを知ることは、世界を知ることに繋がります。この機会に是非一読いただければと思います。

さかえ さきこ（司書・係長・情報サービス課）

